

令和4年3月31日

芦屋市企画部市民参画課
課長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

「ふれあいカフェ」年間報告書

- 1 日 時：毎月第2土曜日 13：30～16：00
- 2 会 場：オープンスペース1
- 3 担 当：出口
- 4 参加団体：5団体7回開催（実績表参照）
- 5 参加者数：大人76人、子ども24人、プログラム参加者254人
- 6 参加者からの振り返り
 - ・前回より参加人数が少なかったが、運営を手伝ってくれる人は多かったのでアイデアがたくさん出て、取り入れることができた。
 - ・カフェを楽しんでもらえなかったのは残念でした。イベント自体は大盛況だった。イヤリング作りは子どもたちには難しかったようだ。読み聞かせでは、参加者全員が平和への思いを共感できたように思いました。
 - ・スペースが広がったため、持参した商品、ほぼ全てを展示したくさんの方に見ていただくことができてよかった。
 - ・子育て世代の家族づれの参加があり、ふれあいカフェのコンセプトにピッタリでいい雰囲気を醸し出すことができた。「紅茶の話」ミニスピーチを割愛せざるを得なかったが、個別に様々な情報を伝えることができた。展示の内容にも熱心に質問される方がいたことも含め今回は来場者の多くが満足されたのではないかと自画自賛している。
 - ・プログラムの間にカフェの時間を設定したが、カフェの利用の仕方をご存じなのかかわからず、声掛けの仕方が難しかった。様々な年代の方が来ていただきそれぞれに楽しんでもらえたことがとてもうれしかった。
- 7 全体の振り返り
 - ・昨年に比べカフェへの参加人数が増えた。
 - ・実施団体には、感染予防の徹底を十分ご理解いただき、問題なく開催できた。
 - ・市からの実施直前でのカフェ中止要請にも快く受け入れていただいた。プログラムのみでも参加者は充分楽しんでいただけたようだ。
- 8 今後の対応
 - ・なお一層感染予防に努め、安心して開催できるよう実施団体と協力する。
 - ・実施団体への説明時に、急遽カフェのみのキャンセルがある旨も伝え、ご理解

いただけるよう説明していく。

- ・来年度よりカフェの収入が団体に入らなくなるため、収益を考えながらプログラムを検討できるよう促す。

9 実施の様子



7月 ポイエシス



9月 芦屋平和委員会



10月 芦屋メンタルサポートセンター
ライラック



11月 日本スリランカ友の会関西



1月 NPO 法人絵本で子育てセンター



2月 芦屋メンタルサポートセンター
ライラック



3月 ポイエシス